

いつも皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。さる3月11日には東北関東大震災が発生し、多くの方々が被災をされました。被災されました皆さまには心からお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復興を願っています。このような震災は東海地方でも遠くない時期におけると予測されており、行政と住民の皆さまと一緒に備える必要があると考えます。皆さまに必要な情報を随時発信して、安全・安心な町づくりに取り組んでいきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

3月には平成23年第2回定例会が開かれ、私にとっては7回目の一般質問をする事ができました。その中で、私が当初から取り組んできた「教育」の課題を取り上げました。新年度予算には、不登校対策の「不登校0を目指してプロジェクト事業」と、発達障がい支援の「発達障がいの子のためのプロジェクト事業」の2つが新規事業として盛り込まれましたので以下にご説明をします。この事業により、すべての子ども達が健康的な若者に育ち、社会で自立できるよう期待をしています。(詳しくは各務原市ホームページの録画中継をご覧ください。「各務原市」→「市議会」→「議会中継」→「録画配信へ」)

## 不登校0を目指してプロジェクト事業



**現状の課題**：平成19年度の不登校生徒は全国で約13万人になりました。中学生が小学生の約4倍と、中学校で急に増加をしています。しかしその対応は統一されたしっかりとした指導基準が無い状態で、先生の経験や、学校ごとの判断により対応しているのが現状ではないでしょうか。

**事業の仕組み**：山形大学の三浦教授を中心に、教育委員会、不登校担当の主幹教諭、医療関係者らをメンバーとした専門家チームを作ります。そのチームが不登校の子ども達や保護者に直接対応します。また、三浦教授には年間35日各務原に来てもらい、すべての学校を巡回して研修会を開き、予防について教職員に指導してもらいます。それにより統一された基準ができ、不登校の予防ができると考えます。

## 発達障がいの子のための支援プログラム事業



**現状の課題**：本市でも配慮が必要な生徒が増加し始め、平成22年で1000人を超えました。そのうちおよそ半数の子ども達は特別支援学級や通級指導教室で学んでいますが、残りの子どもたちは通常学級で通常の教育を受けているので、対応が必要と考えます。

**事業の仕組み**：久留米大学の山下准教授を招いて、注意欠陥・多動性障がいの子どもを対象に、夏休みに学校で数日間のサマースクールを行い、障がいの改善を目指します。また、教職員にとっては課題の立て方や支援の方法、評価の仕方について実践を通して学ぶ機会になります。

## 消防高機能消防指令センター整備

長年の課題であった消防高機能指令センターがいよいよ整備されることになりました。(平成23年度設計、平成24・25年度工事) 通報と同時に発信地が画面に表示される発信地表示システムや、GPS機能による出動車両運用管理システムなどにより、119番の受信から、消防車、救急車等の出動時間が大幅に短縮され、現場に早く到着できるようになります。(写真はイメージ)



## 木造住宅無料耐震診断について

木造住宅耐震診断について、本人負担の無料化を引き続き実施します。木造以外の耐震診断及び木造住宅の補強工事を実施する際にもその費用の一部を助成します。

＜平成22年度の場合＞

対象となる住宅は、

- ① 昭和56年5月31日以前に着工された木造の一戸建ての住宅。
- ② 併用住宅の場合は延べ面積の半分以上が住宅。などの条件が必要。

・募集戸数は100棟で、申込み順。

※平成23年度の内容は5月以降の広報などで確認してください。

## 選挙事務の改善について

昨年7月の参議院選挙において、開票時間が他市と比較して時間がかかりすぎた事などを指摘し、改善を求める一般質問をしました。それに対して選挙管理委員会から以下の様な答弁がありました。

答) 昨年7月に行なわれた参議院選挙における開票作業の所要時間は6時間10分。開票の人員費は241万円でした。今回は疑問票が事前に想定していたより多くあり、その審査に時間がかかったことが理由と考えます。また、当日投票所の従事者は259名、うち市職員以外の派遣委託は66名で約25%に当り、経費削減に努めています。

4月の県議会議員選挙においては、前回の経験を生かし、疑問票の判定を速やかにできるよう勉強会を開き、椅子等を排除して動きやすいレイアウトを考え、アイデアの積み重ねにより、開票作業の改善を考えています。

## 防災ハンドブックの更新

平成18年度に作成した防災ハンドブックの内容を最新の情報に更新し、新年度に全戸配布されます。

また、防災備蓄倉庫に備蓄してある古くなった浄水機や発電機、リヤカー等を更新します。

「自助・共助を實踐できる地域」の防災リーダー(約50名)の育成を目的とした「防災ひとづくり講座事業」を実施します。



○議会インターネット中継について: 「各務原市」又は、「杉山もとのり」のホームページから議会中継が録画でご覧いただけます。

また、私の日常の活動をホームページで更新していますのでご覧ください。

【杉山もとのり後援会事務所】〒504-0905 各務原市蘇原六軒町3丁目6番地 辻井ビル1F  
ホームページ <http://www12.ocn.ne.jp/~gifu> 電話/FAX 058-383-2900